日ごろの成果を発表　郷土芸術祭

３月30日、村文化協会の主催による第31回郷土芸術祭が自治センターで開かれ、村内で文化活動に励む人たち約100人が集い、日ごろの成果を発表しました。

この芸術祭は、特色ある芸術・芸能の発表を通して、より豊かな文化の創造と交流の機会を目的に毎年開催しています。

この日は、しんしのつ田園太鼓ジュニアメンバー23人の「石狩川激流太鼓」の演奏で郷土芸術祭が幕開けしました。子ども達の大人顔負けの演奏に会場からは大きな拍手が送られていました。

この他、９団体が村民約100人が見守る中、三味線や民謡、祭り囃子、舞踊などを約４時間にわたり披露していました。

村の特産品をススキノでＰＲ

４月２日から７日までの６日間、村やＪＡ、村商工会、村農商工連携協議会が合同でリニューアルされたススキノラフィラ地下２階「マルシェコート」に期間限定で出店し、村の特産品のＰＲ・販売を行いました。

マルシェでは、２種類のどぶろく、石狩振興局のＰＲキャラクター「フランチェスカ」のステッカーがついたどぶろくプリン、田楽福米、みそ、有機野菜を使ったほしいもなどを販売しました。

出展した参加者らは「今回のＰＲをきっかけに、新鮮な野菜や美味しい特産物を買い求めに、多くの方が新篠津村に来てもらえれば」と話していました

春の交通安全運動を展開！

春の全国交通安全運動が４月６日から15日まで10日間展開され、本村においても４月８日、交通安全指導員と東出村長らが通学路や市街地３カ所の信号機付近に立ち、街頭指導を行いました。この日は、新１年生の初登校の日でもあり、江別警察署広報担当ポリスベア「くまたろう」も参加し、新１年生一人ひとりに交通安全を呼び掛けていました。

また、同日、新篠津福祉会では、職員らが黄色い旗を持って並び、福祉園前を走行するドライバーに安全運転を呼び掛けていました。

火災のない明るい村づくりを！
村内一周火災予防パレード

４月20日～30日、全道一斉に展開された春の火災予防運動において、新篠津消防団では、４月21日、村内一周火災予防パレードを、また期間中に高齢者宅などの火防査察を実施しました。

野村消防団長は、「今年は火災の発生がなく経過している。今後も予防消防活動に努めていただきたい」と団員らに訴えていました。恒例の１日消防団長・副団長には、「新篠津福祉園」の安田祐衣華さんと星はるかさんが委嘱され、「火災のない明るい村づくりを」と呼びかけてました。